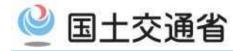
鳥衝突防止対策の強 化にかかる現地対策 研究会の実施状況 《議題3関係》

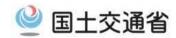
〇山口宇部空港現地対策研究会

第18回鳥衝突防止対策検討会 令和2年2月5日

山口宇部空港 現地対策研究会



山口宇部空港の概要



開催日: 令和元年9月25-26日

参加者(所属): 樋口委員、橘委員、日本航空、全日本空輸 、ANAウイングス

スターフライヤー、中部国際空港 、航空局

特徴 : 空港北側は緑豊かな自然環境があり南側は瀬戸内海に接する臨海空港

国内定期便: 10往復20便 ※ 今和元年1 2月時点

年間旅客数: 約1,027千人 ※ 平成30年度実績(国際線、チャーター便を含む)

(空港内/周辺の環境)

防音堤(林):空港西側の住宅地区に対する騒音軽減を目途として設置

調整池 : 空港に隣接し、大きさ約4.7ヘクタール

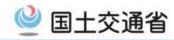
常盤池:鳥獣保護区内にある南北約1.8km、東西約1.3kmの淡水湖

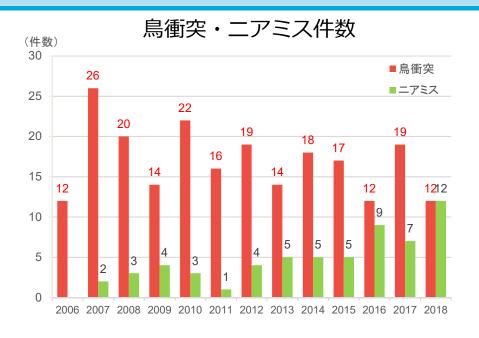
干潟 : 干潮時の滑走路25側海岸付近で、シギやチドリなどが出現



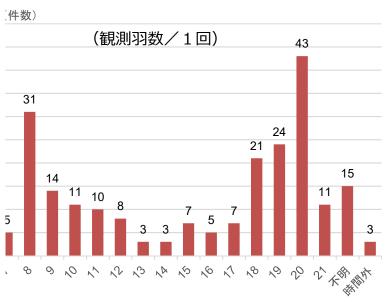


山口宇部空港の鳥衝突件数の傾向



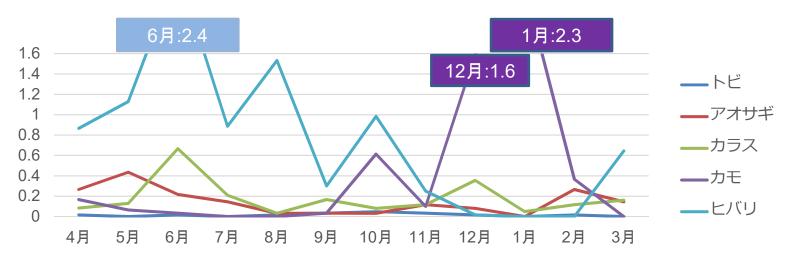


時間帯別衝突件数 (2006~2018年)

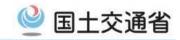


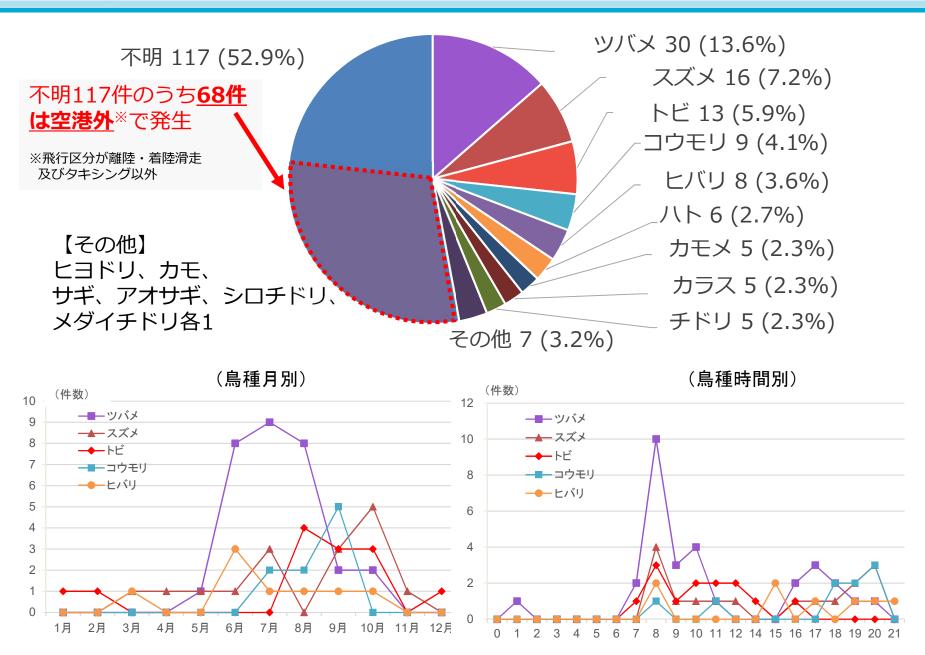
平成30年度空港内の主な鳥種の出現状況

※鳥衝突情報共有サイトに報告された鳥衝突情報を基に作成



山口宇部空港の鳥種別衝突傾向





現在行っている防除対策と課題



ロ バードパトロール・バードスイープ

日中帯において航空機の離着陸前後を中心に実施

検討

鳥衝突の多くが夜間に発生していることから<u>夜間のパトロール・スイープの</u> 導入について検討

課題

車の前照灯に加え、滑走路付近の航空灯火を点灯のうえ、車上から鳥の観察を試みたが、<u>視界で捉えることのできる鳥は殆どいない</u>、または<u>視界に入って</u>も継続して捕捉することが困難である

ロ 銃による駆除

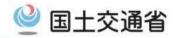
猟友会(委託契約)による実包による鳥駆除を実施(年4回程度出動依頼)

新たな試み(平成29年より)

車に対する恐怖心の醸成を目的として消防指揮車にて実包駆除を実施

課題

消防指揮車による実施駆除、駆除頻度の回数が少なく、<u>恐怖心を植え付ける</u> までには至っていない

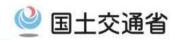


〇 山口宇部空港における鳥衝突防止対策に関する委員の意見

- ・空港に出現する鳥種の生態や衝突鳥種の鳥種を調査等で明確にし、 危険性の評価や問題鳥種を特定したうえで対策を講じること。
 - → 専門機関による生態調査について検討すること
 - → 鳥衝突による落鳥等があった場合には鳥種の確実な特定をすること
- ・空港の鳥衝突防止対策を共有し理解を得ること。
 - → 空港周辺の住民の理解を得たうえで空港周辺の環境対策等を取り組むこと



意見に基づいた取り組みの検討



- ・空港に出現する鳥種の生態や衝突鳥種の鳥種を調査等で明確にし、危険性の評価 や問題鳥種を特定したうえで対策を講じること。
 - ⇒ 空港内・周辺の生態調査の発注を検討(2021年度予算化について作業中) (※それまでの間は鳥類の生態に詳しい専門家にヒアリングを検討)
- ・空港の鳥衝突防止対策を共有し理解を得ること。
 - ⇒ 鳥衝突防止対策を説明する看板を掲示 空港脇の調整池内の島(鍋島)におけるサギ類が営巣防止のため、ツリー状のワイヤー を展張するにあたり、鳥衝突の危険性や対策の必要性を訴える広報看板を設置



その他、鳥類の生態に詳しい専門家の連絡協議会への参加を検討中